

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E142J021		美学・美術史演習 (Introduction to Aesthetics and Art History)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 田中 修二 E-mail tnkshj@oita-u.ac.jp 内線 7596											
授業の概要	美学・美術史の基礎的な知識をふまえ、より専門性の高い調査・研究の方法を身につけるとともに、学校教育における鑑賞活動や地域・美術館等との連携などについての考察を深めていく。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 適切な研究テーマを選び、資料等の調査ができるようになる																	
目標2 学術論文の形式に沿った文章が書けるようになる																	
目標3 美術作品やその歴史等についての自分の見方・考え方を伝えられる																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 はじめに																	
2 地域とその歴史について知る(フィールドワーク1)																	
3 地域と美術の関係を探る(フィールドワーク2)																	
4 研究の視点を見つけ出す(フィールドワーク3)																	
5 美術館について知る(フィールドワーク4)																	
6 作品展示について考える(フィールドワーク5)																	
7 学芸員の仕事を学ぶ(フィールドワーク6)																	
8 美術の見方(時代・地域・作者・作品など)																	
9 資料の探し方(基本文献、ウェブ検索など)																	
10 資料の読み方(書誌データと目次、内容のとらえ方、批評的な読み方)																	
11 口頭発表(資料の紹介の仕方)																	
12 論文・レポート等の書き方																	
13 鑑賞の活動の指導について																	
14 口頭発表(レポート要旨)																	
15 まとめ																	
ラ ア ク ニ テ ン イ グ レ プ	A:知識の定着・確認	演習。フィールドワーク。グループでの話し合い。口頭発表					工 夫 そ の 他 の										
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	自分が選んだテーマに基づいて、資料収集等の調査と研究を進める(15h)															
	事後学修	フィールドワークなどの結果をふまえて、さらに調査を進めていく(15h)															
教科書	特になし(各自の調査・研究内容に応じて適当な書籍等を指示する)。																
参考書	授業中に指示する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	発表	50%															
	レポート	50%															
注意事項																	
備考																	
リンク	URL																